

大津中学校平木元宏先生受賞

平成25年度文部科学省大臣優秀教職員表彰

1月27日、「平成25年度文部科学省大臣優秀教職員表彰式」が東京都メルパルクホールで開催され、大津中学校の平木元宏先生が受賞しました。平木先生はバレーボールの顧問として顕著な成績をあげ、生徒の競技力向上に努め、競技の普及振興に大きく寄与しています。生徒指導においては、基本的な生活習慣の確立や生徒相互の好ましい人間関係づくりをめざし、生徒に寄り添った指導が評価されました。



左から、隅倉校長、平木先生、齋藤教育長

町農業委員会の活動を表彰

農業委員会優良活動表彰

2月20日、平成25年熊本県農業委員会全体研修会が県立劇場で開催され、農業委員会優良活動表彰事業で町農業委員会が4部門中2部門(農地の利用集積部門と情報活動部門)で表彰を受けました。これは、他の模範となる優良な活動を通して実績を収めている農業委員会または委員を顕表するものです。



今回は、積極的な農地集積を図ったことや、年1回発行している「農業委員会だより」などが評価され、表彰を受けました

かわいいポニーと遊ぼう

大津保育園でポニーとの触れ合い

1月31日、大津保育園に3頭のポニーがやってきました。これは、大津保育園の保護者会長である齋藤俊昭さん(町)が、今年は午年ということにちなみ、子どもたちにポニーと触れ合ってほしいということで実現したものです。当日は園児約140人がポニーに触ったり、背中に乗ったりして、生き物との触れ合いを楽しみました。



子どもたちは「触ったらやわらかかった」「耳を触ったらぴくぴくしてかわいかった」と笑顔で感想を述べていました

ドイツ視察の内容を報告

平成25年度クラブおおづ報告会

2月14日、総合型地域スポーツクラブNPO法人クラブおおづの報告会がエアポートホテル熊本で行われました。当日はクラブおおづの事業報告と、クラブマネージャーの齋藤陽子さんが昨年9月に参加した日本体育協会のドイツ研修の報告がありました。齋藤さんは、ドイツと日本の違いや、研修で学んだことなどについて報告しました。



「ドイツでは、行政は助成を行い、スポーツクラブは実行を担うといった役割分担が明確」と視察結果を報告しました

大切な資源「地下水」を守ろう

白川中流域における水田湛水推進に関する協定調印式

水循環型営農推進協議会、熊本市、大津町、菊陽町との白川中流域における水田湛水推進に関する協定調印式が蒲島知事立ち合いのもと、1月27日に県庁で行われました。この協定は、減反などで畑に転用されている水田を持つ農家が1〜3カ月水張りを行い、熊本市や取水企業が実施面積に応じて協力農家に助成金を支払うもので、平成16年に始まり、3月末で10年間の期限が切れる現協定を更新したものです。

家入町長は、「今後も連携して地下水涵養と水質保全に取り組む」と決意を述べました。



左から幸山熊本市長、水循環型営農推進協議会長の後藤菊陽町長、蒲島知事、家入大津町長、井手菊陽町副町長

旭日単光章(地方自治功労)を授章

町議会議員として地方自治の振興に貢献

このたび、樋口均さん(鍛冶)が、高齢者叙勲として「旭日単光章」を授章しました。樋口さんは、町議会議員を昭和52年から12年間勤め、今回の授章はその長年の功績が認められたものです。

伝達式では勲章と勲記が授与され、家入町長が町への貢献に対しお礼の言葉を述べました。



左から、家入町長、樋口さん、徳永副町長

ICTを活用した「緊急情報受信訓練等説明会」

平成25年度スマートひかりタウン熊本推進事業

平成25年度スマートひかりタウン熊本推進事業の1つとして、2月末まで介護予防事業対象の家庭と真木地区でモデル事業を実施しました。これはテレビをインターネットに接続し、健康づくりや見守りなどに関する各種の取り組みを検証するもので、今回は緊急情報受信訓練とテレビを使った基本チェックリストの入力方法の説明会を実施しました。



熊本健康体力づくりセンター荒井久仁子健康運動指導士の指導のもと、くまモンやからいもくんと一緒に「ほりだし体操」をしました

大津町のからいもを全国へ

大津町からいも展オープニングセレモニー

1月10日、「大津町からいも展オープニングセレモニー」が大津郵便局で行われました。2月まで、地域おこしの一環として大津特産のからいも「ほりだし君」の販売が県内約400の郵便局で実施されており、それを記念して開催された「大津町からいも展」のオープニングを祝ったものです。



これを機に、大津のからいもが全国に広がると良いですね